

1 研究主題

生徒の主体的な学び(学習意欲)を育むための宇中型協同学習の実践  
～どの子も一人にしない、どの子も夢中に学ぶ授業をめざして～(4年次)

2 研究の具体

自己有用感を育むための承認活動

【内面化シートについて】

屋島集団宿泊学習を振り返って

『仮野』さんへ  
『佐藤』さんへ  
『佐藤』さんへ

友達からの気づきカード  
→友達から良さの承認

『佐藤』さんへ  
『佐藤』さんへ  
『佐藤』さんへ

教師からのフィードバック  
→教師からの承認

自分を見つめる振り返り

主体性の育成

自己有用感の高まり

他者からの承認と内面化

学び合う環境作り

宇中型協同学習

【学びのサイクル】



- ◇ 共有課題：全員が理解すべき課題
- ◇ ジャンプ課題：共有課題で習得したことを生かして思考・判断を促す課題

【学び合いのルール】教室前面に掲示

- 2分前に、準備をして着席しよう
- 机をぴったりと合わせよう
- 自分の考えを伝えよう
- 自分から「教えて」と言おう
- 「教えて」と言われたら、ていねいに教えよう

→「夢ファイル」に蓄積→保護者からの承認

安心で安全な環境作り

【宇中宣言】

『宇多津中学校 宣言』  
みんなつながれ  
一人になるな 一人にするな  
自分も相手も傷つけない

全ての生徒や先生が、  
なかま(かけがえない集団)になるため  
絶対を守るルール

始業式や入学式の式辞に盛り込み、4月の全校集会で、全校生徒に周知。各学校行事のテーマづくりにも、「宇中宣言」を意識したテーマを設定。

【生徒の実態把握】



Q-U調査や生活アンケート等の実施と、それを活用した生徒の実態把握。

3 研究の検証について

生徒アンケートの実施 (6月・11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境作りの項目については、8割以上の生徒が肯定意見。</li> <li>○承認では、教師や保護者からの承認項目で9割以上が肯定意見。</li> <li>○主体性について(昨年との比較) <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達意見を聴き合う…強い肯定意見が2.7ポイント上昇。</li> <li>・振り返り活動…強い肯定意見が11.4ポイント上昇。</li> <li>・「授業内容が分かる」…強い肯定意見が7.7ポイント減少。</li> </ul> </li> </ul>
教員アンケート (6月・11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒への承認活動…半年で肯定意見が12.1ポイント上昇</li> <li>○授業での雰囲気作り…ほとんどの教員が高い意識で取り組む。</li> </ul>

研究主題 「十河の香り」を育み、未来を拓き社会に出る教育  
～6つの資質・能力「5領域カリキュラム」の社会科・生活科の学習を  
「問題解決的実践学習」で深める～

◎ 社会に出る教育の実践化

○十河の香り活動の継続と充実



○生活科、社会科における発信活動や社会参画



地域教材を開発し、地域のよさを地域の人から学ぶ活動を通して、十河の町に愛着をもち、地域の中で育ち、地域の未来を切り拓く子どもたちの育成を目指してきた。

◎ アクティブ・ラーニングの視点に立つ問題解決的実践学習

○問題解決的実践学習による授業づくり

<問題をもち、見通しをもつ段階>



動機付け、ゴールのイメージをもつ

<調べ、考え、表現し、まとめる段階>



思考操作をもとに対話的な学びを行う

<つなぐ段階>



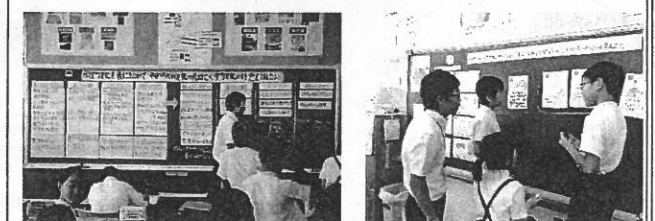
学校と社会の接続を意識する

○思考操作、対話のある学び



絵文カードや短冊に自分の考えや調べたことを書き、友達と対話しながら思考操作することで、新しい概念をつくることができた。

○板書、ノートづくり



子どもの思考を促す構造的な板書や、板書の開放により、子どもたちの対話を活性化することができた。

◎ カリキュラム・マネジメントとしての授業評価

ワークショップ型の授業討議により、全教員の意見を大切に  
して、アクティブ・ラーニングの視点に沿った討議を行った。

【成果】

対話を活性化するためには、視点を明確にしたり、思考操作を行うことで「何が  
見えてくるのか」という課題解決の見通しをもてるようにしたりすることが大切だと  
分かってきた。「アクティブ・ラーニングの10の指標」の「①学級の友だちとの  
間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができてい  
ますか。」という質問については、目標値(★)に近づくことができた。

【課題】

「②友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。」と  
いう質問で、まだまだ課題が見られる。対話活動について、自分の意見をしっかり  
言えるようにするとともに、友だちの意見にも最後まで耳を傾けて、自分の考えを  
広げたり、深めたりすることができるようにしていきたい。

